

日本キャリア教育学会 第47回研究大会

The 47th Conference of
Japanese Society for the Study of Career Education

大会プログラム

《大会テーマ》

キャリア教育 EXPO2025

～個性輝くキャリアのデザイン～



大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」
(リクルートスーツの頃)

2025年10月18日(土)～19日(日)

大阪大学 中之島センター

日本キャリア教育学会 第47回研究大会

主催(共同主催):

大阪大学(キャリアセンター)

日本キャリア教育学会(第47回研究大会実行委員会)

後援:

文部科学省

協賛:

実教出版

実業之日本社

ナカニシヤ出版

ナラティビティ総研

日本語検定委員会

haco.

※いずれも五十音順

大会実行委員会 委員長 挨拶

日本キャリア教育学会第47回研究大会は、2025年10月18日(土)・19日(日)に大阪大学(中之島センター)で開催いたします。今回の大会テーマは「キャリア教育 EXPO2025 ～個性輝くキャリアのデザイン～」です。2025年4月13日から10月13日までの184日間、大阪市の人工島「夢洲(ゆめしま)」で2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」、英語名「EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN」)が開催されます。この万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン(Designing Future Society for Our Lives)」ですが、これはキャリア教育にも通じるところがあると考えています。そこで今回の第47回研究大会のテーマを「キャリア教育 EXPO2025ー個性輝くキャリアのデザイナーー」としました。EXPO(エキスポ)とは、英語の「exposition (エキスポジション)」が略された言葉で、展示会や博覧会を意味します。日本キャリア教育学会は、教育学、心理学、社会学、経営学など様々な学問領域の研究者および実践者が集う学際的な学会です。本大会がキャリア教育に関する様々な研究・実践の展示・博覧会となることを期待しております。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本キャリア教育学会 第47回研究大会実行委員会
委員長 家島 明彦(大阪大学)

大会実行委員会:

委員長: 家島 明彦(大阪大学)

副委員長: 本田 周二(大妻女子大学)

事務局長: 藤原 浩(大阪大学)

目次

1. 大会日程
2. 参加要領
3. 発表要領
4. 基調講演
5. 大会企画シンポジウム
6. 学会コラボ企画シンポジウム
7. 委員会企画シンポジウム
8. 会員企画シンポジウム
9. 個人研究発表(口頭発表)
10. 個人研究発表(ポスター発表)

1. 大会日程

1 日目： 2025 年 10 月 18 日(土)

9:00～	キャリア・カウンセラー養成研修講座受付 (7階 セミナー室7A+7B)	7 階
9:15～12:30	キャリア・カウンセラー養成研修講座 (7階 セミナー室7A+7B)	7 階
12:00～	受付 (6階 ロビー) クローク (6階 セミナー室6A+6B) 企業ブース展示 (6階 セミナー室6C+6D)	6 階 6 階 6 階
13:00～13:30	開会式 (10 階 佐治敬三メモリアルホール) ※サテライト会場は7階 セミナー室7A+7B	10 階 (7 階)
13:30～15:00	【基調講演】 (10 階 ホール) 「学生と職場をつなぐ架け橋： 大学の就職支援サービスの変遷」 講演者： スザンヌ・ヘルビグ 氏 (カリフォルニア大学アーバイン校 副学長補佐(キャリア担当) 通訳： 家島明彦(大会実行委員会 委員長)	10 階 (7 階)
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:40	【大会企画シンポジウム】 (10 階 ホール) 「誰ひとり取り残さないキャリア教育に向けて ー入試・採用の効果検証、入学・入社後のフォロー アップー」 登壇者： 田中敏宏 氏(大阪大学 理事・副学長) 藤田晃之 氏(日本キャリア教育学会 会長) ファシリテーター： 家島明彦(大会実行委員会 委員長)	10 階 (7 階)
16:40～16:50	休憩	
16:50～17:50	2025 年度定期総会 (10 階 ホール)	10 階
17:50～18:00	移動	
18:00～20:00	教育研究懇談会 (9階 サロン・アゴラ)	9 階

2日目：2025年10月19日(日)

8:45～	受付（6階 ロビー） クローク（3階 セミナー室3A）	6階 3階
9:00～12:00	学会コラボ企画シンポジウム（3階 スタジオ） 個人研究発表(口頭発表)（6階 セミナー室） 個人研究発表(ポスター発表)（10階 ホール2～4） 企業ブース展示（10階 ホール2～4）	3階 6階 10階 10階
12:00～13:30	昼休憩	
13:30～15:00	大会企画シンポジウム（3階 スタジオ） 個人研究発表(口頭発表)（6階 セミナー室） 委員会企画シンポジウム（7階 セミナー室7B） 会員企画シンポジウム（7階 セミナー室7C、7D） 休憩室（7階 セミナー室7A） 休憩室、企業ブース展示（10階 ホール2～4）	3階 6階 7階 7階 7階 10階
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:40	大会企画シンポジウム（3階 スタジオ） 個人研究発表(口頭発表)（6階 セミナー室） 委員会企画シンポジウム（7階 セミナー室7B） 会員企画シンポジウム（7階 セミナー室7C、7D） 休憩室（7階 セミナー室7A） 休憩室、企業ブース展示（10階 ホール2～4）	3階 6階 7階 7階 7階 10階

1日目：10/18(土)

	名称	午前	午後	夜間
10階	ホール1		開会式 基調講演 大会企画シンポジウム 総会	
	ホール2			
	ホール3			
	ホール4			
9階	サロン・アゴラ			教育研究懇談会
8階	大会議室	実行委員会本部		
	中会議室			
7階	セミナー室7A	CC養成研修講座	休憩室	
	セミナー室7B			
	セミナー室7C			
	セミナー室7D			
6階	セミナー室6A		受付 クローク 企業ブース展示	
	セミナー室6B			
	セミナー室6C			
	セミナー室6D			
	セミナー室6E			
	セミナー室6F			

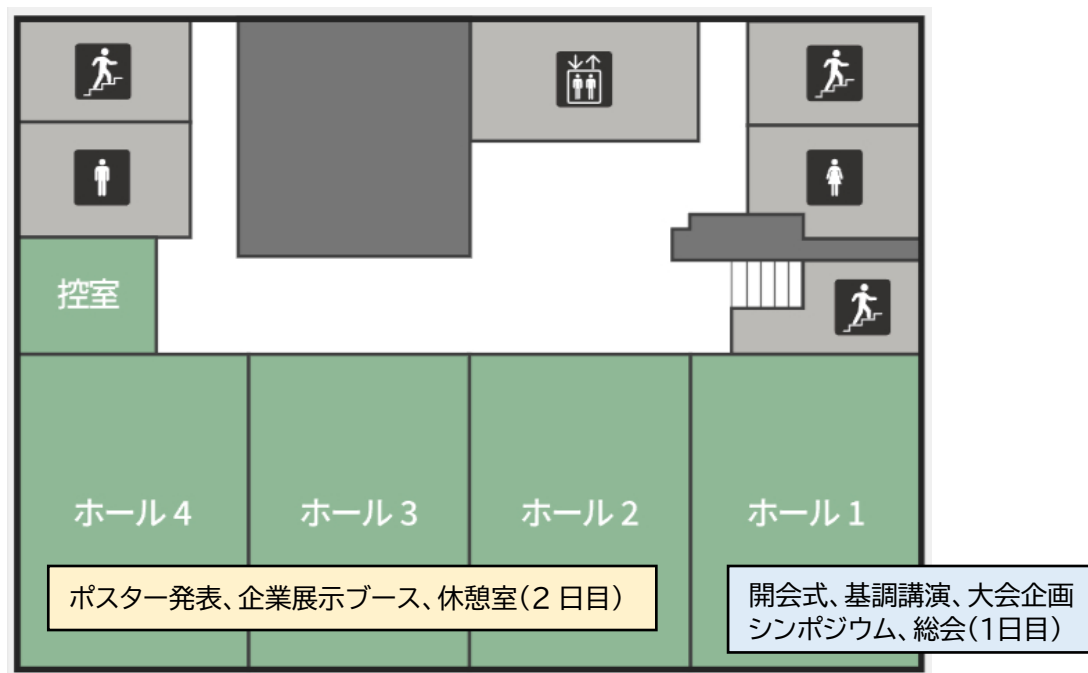
2日目：10/19(日)

	名称	午前	午後1	午後2
10階	ホール2	ポスター発表 企業ブース展示	休憩室 企業ブース展示	
	ホール3			
	ホール4			
8階	大会議室	実行委員会本部		
	中会議室			
7階	セミナー室7A	休憩室	休憩室	
	セミナー室7B		委員会企画シンポジウム	
	セミナー室7C		会員企画シンポジウム	
	セミナー室7D			
6階	セミナー室6A	受付 口頭発表		
	セミナー室6B			
	セミナー室6C			
	セミナー室6D			
	セミナー室6E			
	セミナー室6F			
3階	スタジオ	学会コラボ企画 シンポジウム	大会企画シンポジウム	
	セミナー室	クローク		

10階 佐治敬三メモリアルホール

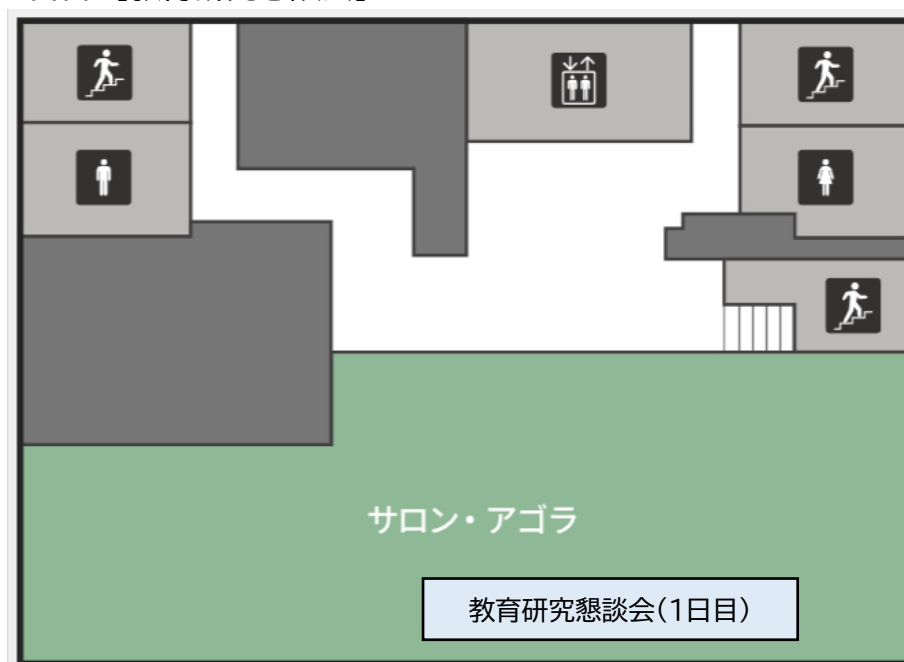
1日目【開会式、基調講演、大会企画シンポジウム、総会】

2日目【ポスター発表、企業ブース展示、休憩室】



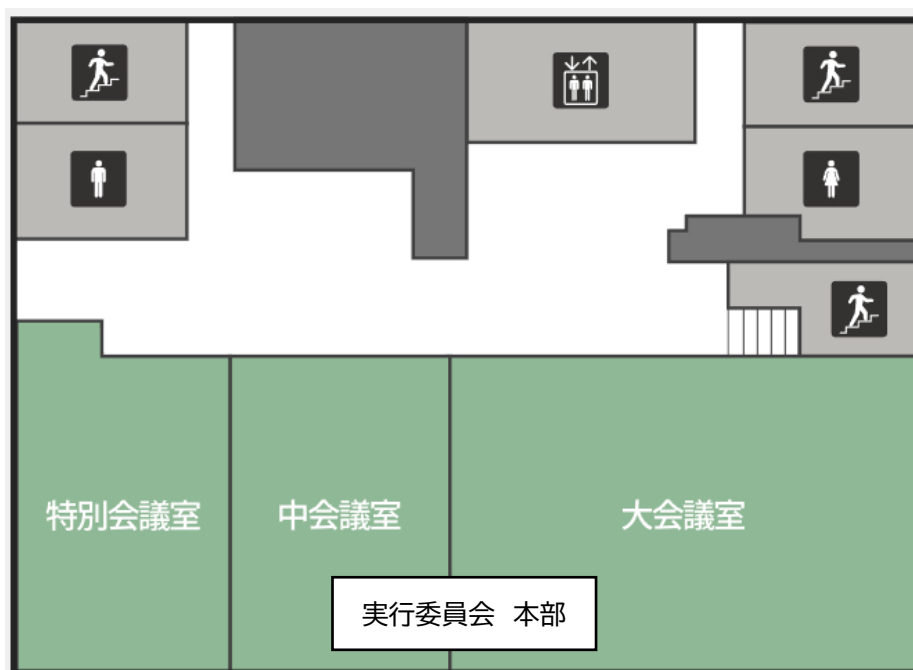
9階 サロン・アゴラ

1日目【教育研究懇談会】



8階 会議室

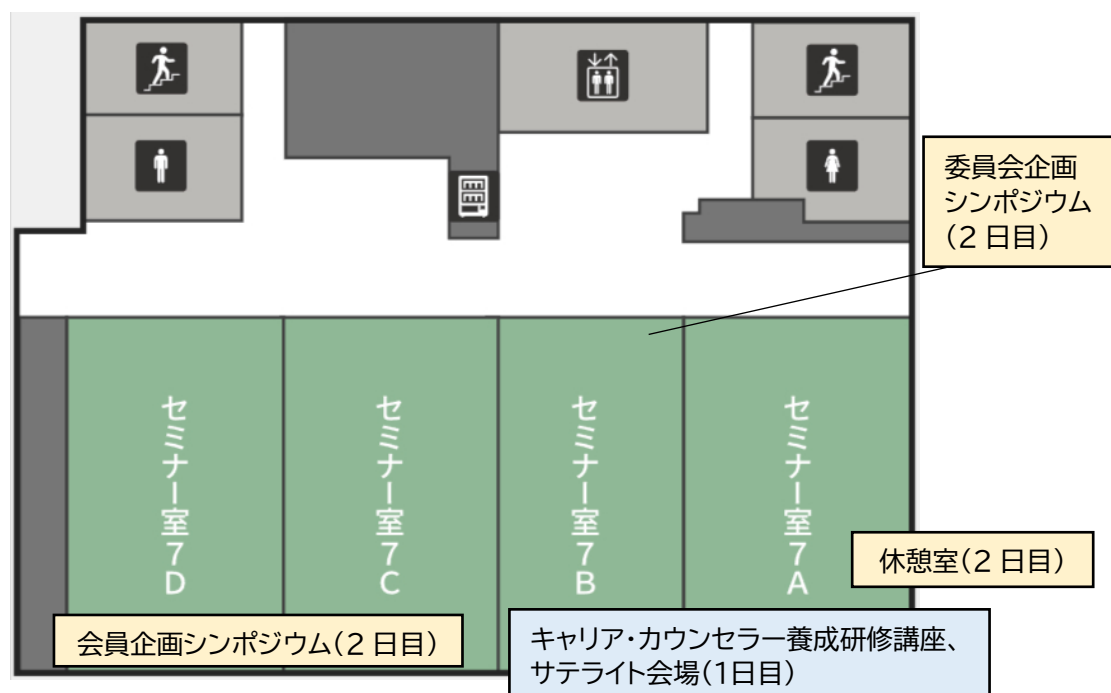
両日【実行委員会本部】



7階 セミナー室 ※自動販売機

1日目【キャリア・カウンセラー養成研修講座、サテライト会場】

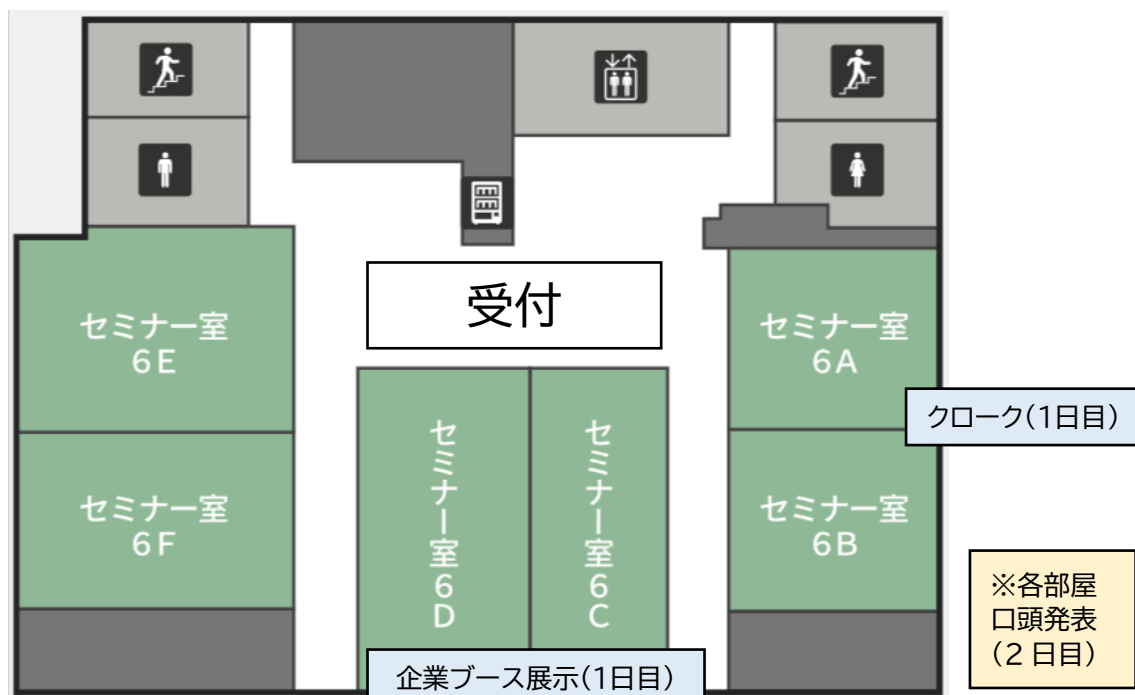
2日目【委員会企画シンポジウム、会員企画シンポジウム、休憩室】



6階 セミナー室 ※自動販売機、コピー機

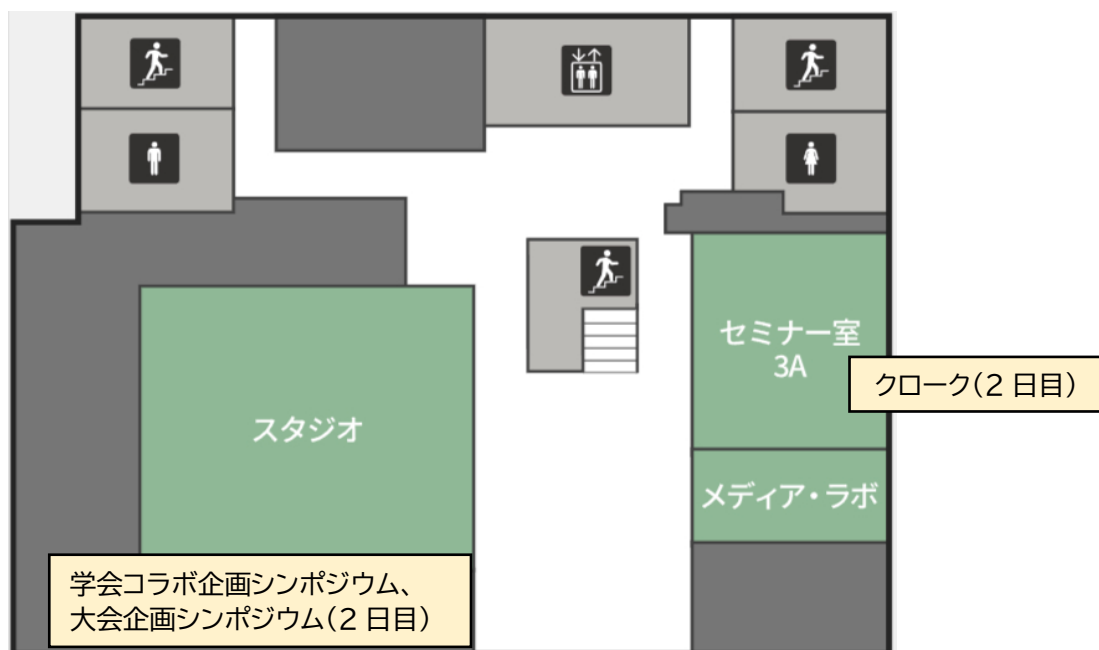
1日目 【受付、企業ブース展示、クローク】

2日目 【受付、口頭発表】



3階 アートスクエア

2日目 【学会コラボ企画シンポジウム、大会企画シンポジウム、クローク】



2. 参加要領

■参加方法と参加費

<予約参加>

2025 年 9 月 30 日(火)17 時までに日本キャリア教育学会[第 47 回研究大会サイト](#)内の[参加申込フォーム](#)に入力の上、参加費用をお振り込みください。

振込が確認できましたら、参加予約手続き完了です。

<当日参加>

当日参加も可能ですが、その際のお支払いは、現金のみとなります。

会場定員に達した場合は参加をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

<参加費>

一般会員（事前）6,000 円 （当日：10/1 以降） 8,000 円

学生会員（事前）3,000 円 （当日：10/1 以降） 4,000 円

非学会員（事前）8,000 円 （当日：10/1 以降）10,000 円

■連絡先

お問い合わせは、メールにてお願いします。

□大会実行委員長 家島明彦

□所在地 大阪大学(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-16 家島研究室内)

□E-mail jssce2025@gmail.com

3. 発表要領

■会員企画シンポジウム

シンポジウムの時間は 90 分です。この中での時間配分は、お任せいたします。開始時刻と終了時刻は厳守をお願いいたします。同時間帯に他のシンポジウムや個人研究発表(口頭発表)等も開催されます。ご了承ください。

■口頭発表

☐ 発表時間・・・18 分間

☐ 質疑応答・・・10 分間

発表者交代の時間を 2 分確保しています。なお、参加者の便宜のため開始時刻や終了時刻は厳守していただきますよう、お願いいたします。

■ポスター発表

☐ 発表時間(ポスター掲示時間)・・・180 分

☐ 在席責任時間…………… 60 分

※奇数は 9:00-10:00、偶数は 10:00-11:00

* ポスターボード(パーテーション)のサイズは、縦 180cm×横 107cm です。

* 会場に磁石(マグネット)を準備いたします。ポスター掲示にご使用ください。

* ポスターは各自でお持ち帰りください。

■設備

各会場の大きさに若干の相違があります。ご了承ください。会場の常設機器は、プロジェクター(HDMI 及び RGB 接続)のみとなります。スライド投影用パソコンは各自ご準備ください。教育研究機関関係者は eduroam の無線 LAN アクセスポイントをご利用いただけます。eduroam の ID をお持ちでない方のため、当日ゲスト用 Wi-Fi を準備いたします。

■資料

発表論文集は研究大会ウェブサイトに掲載します。当日補足資料を配布予定の方は各自ご準備ください。大会 実行委員会本部での印刷はいたしかねますので、近隣のコンビニエンスストア等をご利用ください。6 階には有料のコピー機があります(プリント出力は不可)。白黒 10 円/枚、カラー 50 円/枚です。

4. 基調講演

(大会 1 日目 13:30～15:00) 10 階 佐治敬三メモリアルホール

学生と職場をつなぐ架け橋:

大学の就職支援サービスの変遷

【講演者】

スザンヌ・ヘルビグ氏

(カリフォルニア大学アーバイン校 副学長補佐(キャリア担当))

【要旨】

世界中の高等教育が価値と意義の問いに直面する中、キャリア支援担当部署であるキャリアサービスは教育機関の戦略においてより中核的な位置を占めつつあります。本基調講演では、米国におけるキャリアサービスの歴史を辿り、主要な専門組織である NACE(全米大学就職協議会)の設立から、学生と教育機関双方の成功を支える役割の変遷までを概説します。さらに、キャリアセンターが新たな潮流に対応し戦略的ポジショニングを図る方法を探ります。具体的には、AI の破壊的潜在力、スキルベース採用への移行、カリキュラムにキャリア教育を組み込む必要性、データ活用による効果実証と戦略立案などです。また、INEUCS(世界大学就職協議会)やグローバルキャリアサービスサミットといったネットワークを通じた国際連携の重要性が高まっている点にも焦点を当てます。

4. Keynote

(Day 1, 13:30~15:00) 10F Main Hall

Bridging Students and the World of Work: The Evolution of University Career Services

【Speaker】

Suzanne Helbig

(Associate Vice Provost, UCI Division of Career Pathways)

【Abstract】

As higher education around the world faces questions of value and relevance, career services are becoming more central to institutional strategy. This keynote will trace the history of career services in the United States, including the founding of its key professional organization, NACE (National Association of Colleges and Employers), and their evolving role in supporting both student and institutional success. It will explore how career centers are strategically positioning themselves by responding to emerging trends: the disruptive potential of AI, the shift toward skills-based hiring, the need to embed career education into the curriculum, and the use of data to demonstrate impact and guide strategy. The talk will also highlight the growing importance of global collaboration through networks such as INEUCS (International Network of Employers and University Careers Services) and the Global Career Services Summit.

5. 大会企画シンポジウム①

(大会 1 日目 15:10～16:40) 10 階 佐治敬三メモリアルホール

誰ひとり取り残さないキャリア教育に向けて ー入試・採用の効果検証、入学・入社後のフォローアップー

登壇者：田中 敏宏(大阪大学 理事・副学長)

藤田 晃之(筑波大学 教授／日本キャリア教育学会 会長)

ファシリテーター：家島 明彦(大阪大学 准教授／第 47 回研究大会実行委員長)

企画：日本キャリア教育学会 第 47 回研究大会実行委員会

企画趣旨

本シンポジウム「誰ひとり取り残さないキャリア教育に向けて ー入試・採用の効果検証、入学・入社後のフォローアップー」は、教育と雇用の接点における課題を多角的に検討し、キャリア教育の新たな方向性を探ることを目的とする。少子化と人材多様化が進む現代社会において、若者のキャリア形成をいかに支援するかは、大学と企業の双方にとって重要な責務であり、「誰ひとり取り残さない」視点が求められている。

これまで入試や採用は、学習成果や適性を評価する選抜の仕組みとして重視されてきた。しかし、合格や内定を得た後の学生や新入社員が必ずしも円滑に適応し、持続的に成長できるとは限らない。むしろ入学後・入社後の初期段階において挫折や不適応が生じるケースが少なくないことが明らかになっている。そのため、入口段階での選抜の妥当性を検証すると同時に、入学後・入社後における効果的なフォローアップの仕組みを構築することが不可欠である。

本シンポジウムでは、まず大阪大学の教育担当理事である田中敏宏氏より、大学教育の立場から大阪大学の教育改革を中心に教育カリキュラム設計や大学におけるキャリア教育の未来について論じていただく。次に、日本キャリア教育学会の会長である藤田晃之氏より、キャリア教育の立場から、社会正義の文脈におけるキャリア教育や就職後のキャリア発達支援のあり方について論じていただく。これらを通じて、生涯にわたるキャリア教育の全体像や未来像を構想し、これからの時代において若者の成長を支える持続可能な仕組みを展望する。

5. 大会企画シンポジウム②

(大会 2 日目 13:30～15:00) 3階 スタジオ

越境・共創とキャリア教育

話題提供： 及部 一堯(NTT 西日本株式会社)

長井 伸晃(神戸市役所)

指定討論： 岡本 栄理(株式会社オカムラ)

家島 明彦(大阪大学)

司 会： 豊田 麻衣子(フジッコ株式会社)

企 画： 日本キャリア教育学会 第 47 回研究大会実行委員会

企画趣旨

本シンポジウム「越境・共創とキャリア教育」では、「学ぶ」と「働く」の境界を越え、新たな価値を共に創り出すプロセスに焦点を当てる。現代社会においてキャリア形成は、単なる個人の進路選択にとどまらず、異なる専門分野・組織・文化との出会いを通じて拡張される営みである。大学教育や企業における人材育成においても、越境的な学びや産学官連携、地域社会や国際社会との協働は不可欠な要素となりつつある。本シンポジウムでは、こうした「越境」経験がキャリア発達に及ぼす影響や、その経験を支える教育デザインのあり方について議論する。また、多様な立場の人々が協働する「共創」の場が、個人の成長と社会的イノベーションの双方を促進する可能性についても検討する。本シンポジウムを通じて、キャリア教育の新たな展望を切り拓く契機としたい。

5. 大会企画シンポジウム③

(大会 2 日目 15:10～16:40) 3階 スタジオ

AI と人材育成

話題提供： 新村 猛(株式会社 GANKO)

岡崎 浩二(東京都立産業技術大学院大学)

指定討論： 平田 史昭(株式会社リアセック)

司 会： 深井 雄介(デロイトトーマツコンサルティング合同会社)

企 画： 日本キャリア教育学会 第 47 回研究大会実行委員会

企画趣旨

本シンポジウム「AI と人材育成」では、急速に進展する人工知能技術が教育と人材育成のあり方に及ぼす影響を多角的に検討する。生成 AI をはじめとする最新技術は、学習支援、業務効率化、キャリア形成の可能性を拡張する一方で、倫理的課題やスキル格差、主体性の喪失といった新たな懸念も生み出している。大学教育や職場研修においては、AI を適切に活用しつつ、人間固有の判断力や創造性を育む教育デザインが求められている。本シンポジウムでは、第一に AI 活用の現状と課題を整理し、第二に教育・採用・キャリア支援の実践事例を共有する。さらに、AI と人間の協働がもたらす新しい人材像について議論することで、キャリア教育が果たすべき役割を再考する。参加者とともに、人間中心の人材育成の未来を構想する場としたい。

6. 学会コラボ企画シンポジウム

日本キャリア教育学会(研究推進委員会)×日本青年心理学会(研究委員会)

(大会 2 日目 10:30～12:00) 3階 スタジオ

職業未決定と青年期

ー青年の「やりたいこと」を巡る心理・教育的視座ー

話題提供: 若松 養亮(滋賀大学)

峰尾 菜生子(岐阜大学)

溝口 侑(関西大学)

指定討論: 下村 英雄(労働政策研究・研修機構)

司 会: 望月 由起(日本大学)

企 画: 日本キャリア教育学会 研究推進委員会

企画趣旨

本シンポジウムは日本青年心理学会と日本キャリア教育学会の協働で企画されたものである。青年心理学から見るキャリアとはどのようなものか、またキャリア教育から見る青年の心理とはどのようなものか、シンポジウムを通して探求していきたいと考えている。

さて、両学会の共通テーマとして、青年期の職業未決定をめぐる問題がある。職業選択と社会への移行は青年期における重要な心理社会的発達課題であると同時に、キャリア教育においても中心的課題であるからである。そこで、職業未決定を視座の中心に置き、キャリア教育と青年心理学のそれぞれの立場から話題提供を行い、議論を深めていきたい。

7. 委員会企画シンポジウム①

(大会 2 日目 13:30～15:00) 7 階セミナー室 7B

キャリア教育をめぐる問いにどう向き合うか

ー研究倫理という視点からの関わり方を考えるー

話題提供: 春田 裕和(国立弓削商船高等専門学校)

若松 養亮(滋賀大学)

半澤 礼之(北海道教育大学 釧路校)

司 会: 白木 みどり(金沢工業大学)

企 画: 日本キャリア教育学会 倫理委員会・学会誌編集委員会

企画趣旨

近年は、キャリア教育の概念が社会的認知を得られるに伴い、教育理念の具現化において表出する「キャリア教育をめぐる問い」は、年齢、ジェンダー、校種、産業種、地域、国籍、国際化等により、複雑多様化している。また、子どもを取り巻く社会環境をはじめ、就職情報、労働市場は、加速度的に変動、流動し続けている。従来、キャリア教育に関する学習内容や環境が整備され、充実に向けた対応策が盛んに講じられると共に、キャリア教育をテーマに据えた学術研究発展の途が拓かれてきた。本学会においても前身であった日本進路指導学会を引継ぎ、多くの優れた学術研究を世に送り、学術団体としての確固たる地位を築いてきた。その歴史的経緯を踏襲し、今私たち学会員は、キャリア教育をめぐる現代的問いにどのように向き合うことが求められるだろうか。近年の研究活動における課題解決に向けたアプローチは、多種多様である。しかし、一方では研究プロセスにおける多くの倫理的問題の発生が報告され、各界においても様々な言動に倫理的配慮が求められている。本シンポジウムは、日本キャリア教育学会が「基本的人権と尊厳の尊重」を基盤とする永続的学術団体として、今後いっそうの発展を遂げるために、「研究倫理の視点から」円滑な研究活動を展開するための理念や方策について、共に理解を深め実践に生かすことを目的として企画するものである。

7. 委員会企画シンポジウム②

(大会 2 日目 15:10～16:40) 7 階セミナー室 7B

多文化時代における教員のキャリア形成を考える

話題提供: 三村 隆男(早稲田大学)

張 太光(広島県立安芸府中高等学校)

岡部 敦(清泉大学)

下村 英雄(労働政策研究・研修機構)

司 会: 高野 慎太郎(東京大学教育学部附属中等教育学校)

企 画: 日本キャリア教育学会 国際交流委員会

企画趣旨

日本に在留する外国人数は約 377 万人、公立学校に在籍する外国人児童生徒数は約 14 万人で、いずれの値も過去最高を更新し続けている*。こうした地域や家庭や子どもの多文化化がすすむなか、学校教育においては多文化理解や多文化共生のための実践が広がっている。他方で、学校教育に取り組む教員の側にも、国籍や民族における多様性が存在する。そうした人々は、どのような背景を経て日本に至り、何を志し、日ごろの教育実践をどのように体験しているのだろうか。本シンポジウムは、日本において教育活動に従事する外国籍教員のキャリア形成に焦点を当て、その豊かさや困難さを明らかにし、あり得べき未来像について考察するものである。登壇者の三村隆男氏(本学会前会長、早稲田大学名誉教授)からは、ご専門である教師のキャリア形成論の視点から本件が持つ意味や広がりについてお話頂く。広島県の公立学校で教育実践に取り組んでいる張太光氏には、外国籍教員の当事者としてのご自身のキャリアや現在の教育活動、また今後取り組んでいきたい教育活動の夢や理想についてお話を頂く。岡部敦氏(本学会国際交流委員長、清泉大学准教授)には、カナダにおけるご自身の外国籍教員としてのご経験や諸外国の制度など幅広くお話頂く。下村英雄氏(本学会元会長、労働政策研究・研修機構統括研究員)からは、本学会 40 周年を記念して掲げられたミッション・ステートメントの本義、また社会正義論の視点から話題提供して頂く。フロアとの質疑応答やディスカッションも交えながら、標題に迫りたい。

*前者は出入国在留管理庁調査、後者は文部科学省「学校基本調査」による。いずれも 2024 年末時点。

8. 会員企画シンポジウム①

(大会 2 日目 13:30～15:00) 7 階セミナー室 7C

大学キャリア教育のマネジメント再考 －創造的なカリキュラムの発展を目指して－

話題提供: 中川 洋子(立命館大学共通教育推進機構)

宮田 弘一(静岡産業大学経営学部)

永作 稔(武蔵野大学教養教育部会)

司 会: 永作 稔(武蔵野大学教養教育部会)

企 画: 中川 洋子(立命館大学共通教育推進機構)

長田 尚子(立命館大学 BKC 社系研究機構)

企画趣旨

大学におけるキャリア教育は、各大学での検討・解釈を経て多様な発展を遂げた。教育課程では、教養教育や専門教育を通じて多くの実践が蓄積されたが、教育改善に向けての試行錯誤が続き、大学キャリア教育に関する研究の蓄積は途上である。企画者らは、キャリア教育の質保証を目指し、キャリア教育をカリキュラムとして捉えることで多様性を乗り越え、多くの実践に通底する課題の検討や実施体制の類型化等のアプローチを模索してきた。本シンポジウムでは、キャリア教育のマネジメントに関する議論を進め、キャリア教育の創造的な発展に向けた研究の活性化を狙う。

シンポジウムでは、経営学・社会学・心理学を専門とする実践者による話題提供を行う。テーマは、1)カリキュラムの持続可能性を提供する組織マネジメント、2)キャリア教育政策および社会状況を捉えたマネジメントの在り方、3)大学のミッションに基づく有機的連携の姿、として実践事例と研究事例を扱う。全体討論では、参加者も交え、大学キャリア教育の実践と研究のありたい姿を議論する。

8. 会員企画シンポジウム②

(大会 2 日目 13:30～15:00) 7 階セミナー室 7D

支援と共生をつなぐ教育の現場

ー 特別支援学校と通常学校の学びの交差点からー

話題提供: 新路 好実(大阪府教育庁)

北本 一輝(大阪府立なにわ高等支援学校)

竹村 有加(大阪府立金剛高等学校)

戸谷 健史(信州大学学術研究院)

指定討論: 中島 弘和(元国立都城工業高等専門学校)

司 会: 中島 弘和(元国立都城工業高等専門学校)

企 画: 中島 弘和(元国立都城工業高等専門学校)

企画趣旨

今日のキャリア教育は、学びの場を学校の枠を越えて社会に開くことが強く求められている。特に、特別支援学校と地域の通常学校等との連携は、インクルーシブ教育の環境の構築と多様なキャリア形成支援の深化に資する実践として注目されている。

本シンポジウムは、こうした連携の展開を通じて、キャリア教育における「接続」「協働」「共生」の理念がどのように現場で具現化され、理論的に位置づけられ得るのかを検討する研究的意義を有している。

具体的には、大阪府の「共生推進教室」の制度的取組を行政の視点から、高等支援学校と高等学校間の連携の現状と課題を実践の視点から、さらに信州大学教育学部附属長野学校における小学校・中学校・特別支援学校の3校併置を基盤とした交流及び共同学習の実践を紹介する。これらの事例分析を通じ、教育的効果や課題を抽出し、学校と地域社会・教育機関の接続がキャリア教育研究に提示する新たな論点を明らかにしたい。

本シンポジウムは、実践と研究の往還を図りつつ、キャリア教育学の理論的・実証的発展に資することを目的とする。

8. 会員企画シンポジウム③

(大会 2 日目 15:10～16:40) 7 階セミナー室 7C

児童生徒のキャリア発達を支える 教師と心理職の協働システムに関する国際比較研究 －第二次報告－

話題提供: 永作 稔(武蔵野大学)・石嶺 ちづる(愛知教育大学)

ライアン 優子(静岡大学)・京免 徹雄(筑波大学)

本田 周二(大妻女子大学)・家島 明彦(大阪大学)

指定討論: 高綱 睦美(愛知教育大学)

司 会: 石嶺 ちづる(愛知教育大学)

ライアン 優子(静岡大学)

企 画: 京免 徹雄(筑波大学)

企画趣旨

京免・永作・石嶺・ライアン・本田・家島の 6 名の会員は、昨年度から科学研究費助成事業・基盤研究(B)を受けて、アメリカ、フランス、イギリス、日本の 4 ヶ国を対象に、キャリア・カウンセリングの制度・理論・実践に関して調査している(課題番号 24K00409)。その目的は、児童生徒の多様なニーズをふまえて主体的な意思決定を促すキャリア・カウンセリングに向けて、日本の教育状況に適した教師と心理職の協働のしくみを構築することにある。

本シンポジウムでは第二次報告として、日本の学校教育においてキャリア専門職がいかなる位置にあるのか国際的な視点から確認した上で、学校教育への参入過程についてインタビュー調査に基づき検討する。まず、市立の中学校・高等学校等にキャリアナビゲーターを常勤職として配置している名古屋市の事例を対象に、教師との関係構築のプロセスを分析する。次に、教師を「キャリア・カウンセラー」として配置してきた東京都立 X 高校の事例に着目し、27 年という時間の経過の中で新たな専門職がどう受容されていったのか考察する。その上で、「キャリア・カウンセラー」タイプと「ガイダンス・ティーチャー」タイプ、異なる 2 つの事例を比較する。

その後、指定討論をふまえて、日本における教師と専門職の協働の課題と可能性について、フロアを交えて議論したい。

9. 個人研究発表(口頭発表)①

(大会 2 日目 午前) 6 階セミナー室 A～F

分科会 1(9:00～12:00) 6 階セミナー室 6A

座長: 白木 みどり(金沢工業大学)

座長: 河崎 智恵(奈良教育大学)

1-1	09:00-09:28	ルーブリックを活用したキャリア教育の実践 -1年次、3年次のPROGテストの結果に着目して-	伊藤 繁生	名古屋経済大学
1-2	09:30-09:58	短期大学におけるキャリア教育科目の現状と課題 -地域総合科学科のキャリア関連科目の分析より-	堀 良平	聖和学園短期大学
1-3	10:00-10:28	社会人のキャリアストーリーをもとにした 今後のキャリア教育に関する考察 -計画的偶発性理論の視点から-	石井 里奈	大阪教育大学
1-4	10:30-10:58	キャリア教育における「社会的・職業的自立」と「依存」 -「適切な依存」を通じた自立概念の再検討-	出原 幹大	筑波大学大学院
1-5	11:00-11:28	「生きる勇氣」をはぐくむ大学キャリア教育科目のデザイン	吉川 正剛	大手前大学
1-6	11:30-11:58	キャリア教育科目における「労働者の権利学習」に関する 実証分析-多母集団の平均構造分析を援用して-	宮田 弘一	静岡産業大学

分科会 2(9:00～12:00) 6 階セミナー室 6B

座長: 小池 楠男(別府大学)

座長: 岡部 敦(清泉大学)

2-1	09:00-09:28	専門学校における留学生のキャリア支援の現状と制度的限界 -「留学生政策」の周縁にある非漢字圏学生の事例から-	董 夢 (阿部 夢)	大阪経済法科大学
2-2	09:30-09:58	キャリア教育としての留学制度-地方私立大学の現状-	小形 美樹	仙台白百合女子大学
2-3	10:00-10:28	連続性からみる青年期における初期キャリア形成プロセスの 適応性について -中国の大学生を対象とした検討-	劉 文静	学習院大学
2-4	10:30-10:58	学生の進路決定にキャリア教育が与える影響 -日中大学生に対する意識調査の分析を通じて-	李 依霖 手嶋 将博	文教大学 文教大学
2-5	11:00-11:28	大学時代の学習状況が将来のキャリア・スキル形成に及ぼす 影響 -人文社会科学系学生を対象とした社会人パネル 調査データをもとに-	小澤 昌之	東京通信大学
2-6	11:30-11:58	データサイエンス学習に対する認知的興味と キャリア探索との関連 -汎用的技能とキャリア・オリエンテーションに着目して-	中大路 誠 杉本 英晴	関西大学大学院 関西大学

分科会 3(9:00～12:00) 6 階セミナー室 6C

座長：安達 智子(早稲田大学)

座長：本庄 麻美子(和歌山大学)

3-1	09:00-09:28	目的養成学部への進路選択における職業ロールモデルの存在とキャリア・レディネスについて(概報)	石井 大貴 高須 佳奈	島根県立大学 島根県立大学
3-2	09:30-09:58	多様化する入社エントリー経路と文系学生の就職活動 —オファー・スカウト、紹介エージェントに着目して—	本庄 麻美子	和歌山大学
3-3	10:00-10:28	人文学部におけるキャリア形成科目の受講率と就職率の関連 ～入試倍率とMATCHplusコホート特性を統制した探索的検討～	新居田 久美子 大原 良通	神戸学院大学 神戸学院大学
3-4	10:30-10:58	大学生の就職活動における自己調整の性差 —女子学生の短期的リスク回避は将来のキャリア格差を生むか?—	小菅 清香	駒沢女子大学
3-5	11:00-11:28	情報の消費はステレオタイプを強化する? —SNSの利用と職業イメージの関連に着目して—	安達 智子 法 卉	早稲田大学 復旦大学
3-6	11:30-11:58	自律的学習を促すキャリア教育と生成AIの活用可能性 —リクナビ「ガクチカAIアシスタント」を事例として—	高須 佳奈	島根県立大学

分科会 4(9:00～12:00) 6 階セミナー室 6D

座長：新目 真紀(職業能力開発総合大学校)

座長：三村 隆男(早稲田大学)

4-1	09:00-09:28	地域型インターンシップにおける初年次学生と受入組織の相互成長の実証分析 —キャリア形成と人的資源管理の視点から—	井上 奈美子	福岡県立大学
4-2	09:30-09:58	日本の職業指導の成立と展開を歴史的制度論で分析する	三村 隆男	早稲田大学
4-3	10:00-10:28	生成AIにおける文脈トリガーとジェンダー —職業推奨の出力分布にみる性差—	山崎 萌々子	十文字学園女子大学
4-4	10:30-10:58	学生の就業体験がライフキャリアに影響を及ぼすかについての一考察 —学生役割の視点から—	田中 聖華	横浜商科大学
4-5	11:00-11:28	職場体験活動に際した持続的な事業所連携の実現方策 —新潟県佐渡市の「課題解決型職場体験」を事例として—	藤田 駿介 小見 まいこ	流通経済大学 NPO法人みらいずworks
4-6	11:30-11:58	大学2年生向けキャリアデザイン科目におけるインターンシップ課題の模擬体験を通じた関係性構築支援の効果検証	新目 真紀 青木 健	職業能力開発総合大学校 株式会社アビリティカ

分科会 5(9:00～12:00) 6 階セミナー室 6E

座長：中島 弘和(元国立都城工業高等専門学校)

座長：古田 克利(法政大学)

5-1	09:00-09:28	キャリア専門職としての名古屋市「キャリアナビゲーター」の役割と位置付け —他の「教員以外の専門スタッフ」との比較から—	長谷川 涼	筑波大学大学院
5-2	09:30-09:58	名古屋市のキャリア教育の推進 —キャリア教育推進センターの役割—	中村 浩二	名古屋市教育委員会事務局
5-3	10:00-10:28	学校におけるキャリア教育推進に関する一考察	井川 智嗣	三重大学大学院
5-4	10:30-10:58	高等支援学校におけるキャリア教育の教育的意義の再考 —個別的支援から社会的包摂へと拓かれる学びと連携の実践—	中島 弘和	元国立都城工業高等専門学校
5-5	11:00-11:28	高等学校におけるキャリア教育推進のための体制整備 —推進委員会やその役割を担う部署に着目して—	大森 順子	筑波大学大学院
5-6	11:30-11:58	中学校におけるキャリア教育推進の中核を担う人材の職務遂行の状況と課題—名古屋市・浜松市の事例から—	峯 啓太郎	筑波大学大学院

分科会 6(9:00～12:00) 6 階セミナー室 6F

座長：村瀬 悟(愛知県みよし市立南中学校)

座長：山田 智之(上越教育大学)

6-1	09:00-09:28	地域と連携した4校合同委員会活動における生徒の変容とその要因—教員、生徒、コーディネーターの語りの分析から—	間嶋 勇太 松井 千枝	上越教育大学 一般社団法人にいがた圏
6-2	09:30-09:58	学級活動における合意形成と意思決定を通じた役割意識の拡張—キャリア教育における小中連携を視野に入れて—	荒川 文雄 京免 徹雄	棚倉町教育委員会 筑波大学
6-3	10:00-10:28	教員のキャリア教育の捉え方に関する研究	山田 智之	上越教育大学
6-4	10:30-10:58	生成変化の視点から考える教師のキャリア形成	高野 慎太郎	東京大学教育学部附属 中等教育学校
6-5	11:00-11:28	協働型プロジェクト学習におけるグループディスカッション訓練と学生の変容 —実践的思考の深化と経験学習サイクルに基づく質的分析—	高濱 優子	神田外語大学
6-6	11:30-11:58	中学校特活熟達者のキャリア形成プロセス — TEM 分析で読み解くキャリアレジリエンスと境遇活用スキルの発達 —	村瀬 悟	愛知県みよし市立南中学校

9. 個人研究発表(口頭発表)②

(大会 2 日目 午後1) 6 階セミナー室 A～F

分科会 7(13:30～15:00) 6 階セミナー室 6A

座長：石嶺 ちづる(愛知教育大学)

7-1	13:30-13:58	高等学校におけるロールレタリングを導入した キャリア・パスポートの実践研究	岡本 泰弘	琉球大学
7-2	14:00-14:28	大学におけるキャリア教育科目の開発と実践(1)ーA大学に おける「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」の開発プロセスを中心にー	石嶺 ちづる 高綱 睦美	愛知教育大学 愛知教育大学
7-3	14:30-14:58	大学におけるキャリア教育科目の開発と実践(2)ーA大学に おける「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」の効果検証を中心にー	高綱 睦美 石嶺 ちづる	愛知教育大学 愛知教育大学

分科会 8(13:30～15:00) 6 階セミナー室 6B

座長：渡部 昌平(秋田県立大学)

8-1	13:30-13:58	キャリア・パスポートの継続支援に関する探索的研究 ー大学生に対する意識調査からー	渡部 昌平	秋田県立大学
8-2	14:00-14:28	生成AIを組み込んだポートフォリオ型キャリア教育の 効果検証 ーR7年度キャリアデザイン特論授業を事例としてー	神野河 彩子 佐藤 桂輔	茨城工業高等専門学校 茨城工業高等専門学校
8-3	14:30-14:58	キャリア・ポートフォリオの効果的活用の探究 ーこれまでの研究成果を総括してー	清水 克博 胡田 裕教 角田 寛明 岩城 祥子	名古屋学芸大学 滋賀県立大学 東北学院大学 呉市教育委員会

分科会 9(13:30～15:00) 6 階セミナー室 6C

座長：前田 吉広(福山大学)

9-1	13:30-13:58	世代間ギャップの本質と教育的解決アプローチ ー認識基盤再構築による実践的介入方法の検討ー	林 克哉 三浦 優良 椎木 彩夏	有限会社フォスター 有限会社フォスター 有限会社フォスター
9-2	14:00-14:28	持続可能なPTA改革と地域学校協働本部の実践成功事例 ー人財が集まりキャリア発達するコミュニティの創造ー	荒堀 洋子	シンクロ・ライフキャリア 横浜市立山内小学校
9-3	14:30-14:58	大都市圏から地方圏への大学進学移動の趨勢	村山 詩帆	佐賀大学

分科会 10(13:30～15:00) 6 階セミナー室 6D

座長：望月 由起(日本大学)

10-1	13:30-13:58	専門職大学における学生の能力形成と進路の関係	立石 慎治	筑波大学
10-2	14:00-14:28	「学びの多様化学校」におけるキャリア教育の可能性と課題 —特別の教育課程としてキャリア教育に着目した中学校の事例等を通して—	望月 由起	日本大学
10-3	14:30-14:58	デンマークの国民学校におけるキャリア教育 —義務テーマ「教育と仕事」に着目して—	吉川 実希	関西外国語大学

分科会 11(13:30～15:00) 6 階セミナー室 6E

座長：京免 徹雄(筑波大学)

11-1	13:30-13:58	初年次キャリア教育における自己開示支援の実践的工夫 —抵抗を示す学生へのアプローチ—	山本 和美	筑波大学大学院
11-2	14:00-14:28	初年次学生の「やさしい日本語」を用いた オンライン国際交流がキャリア発達へ与える影響	上西 智子	共立女子大学・共立女子短期大学
11-3	14:30-14:58	障害当事者の話がリハビリテーション学科初年次学生の キャリア形成に及ぼす影響	文本 聖現 寺村 晃 渡部 雄太	大阪保健医療大学 大阪保健医療大学 大阪保健医療大学

分科会 12(13:30～15:00) 6 階セミナー室 6F

座長：丸山 実子(島根大学)

12-1	13:30-13:58	大学生のキャリアを育む地域との協働的学び —地域プロジェクト型実習から見えた効果—	丸山 実子	島根大学
12-2	14:00-14:28	PBL型授業での心理的安全性と役割の明確さが 学生のエンプロイアビリティに与える影響	辻川 典文	神戸親和大学
12-3	14:30-14:58	主体的な思考・取り組みにおける行動特性 —評価項目抽出とコンピテンシーベースの指導—	彌島 康朗	敬愛大学

9. 個人研究発表(口頭発表)③

(大会 2 日目 午後2) 6 階セミナー室 A～E

分科会 13(15:10～16:40) 6 階セミナー室 6A

座長：青野 也寸志(宮城県立支援学校岩沼高等学園)

13-1	15:10-15:38	特別支援学校高等部を中心としたキャリア教育および進路指導を通じたキャリア・パスポートの在り方についての予備的考察	青野 也寸志	宮城県立支援学校岩沼高等学園
13-2	15:40-16:08	経営者による講話が大学生の職業観およびキャリア意識に与える効果	川端 由美子	和歌山大学
13-3	16:10-16:38	自律的な「生き方・在り方」学修の可能性VI ー自己調整力の定着ー	柳瀬 啓史	元公立小学校教諭

分科会 14(15:10～16:40) 6 階セミナー室 6B

座長：師岡 あゆみ(お茶の水女子大学大学院)

14-1	15:10-15:38	高校生の良好な学習動機と関連する第一志望大学選択動機の検討ー自己決定理論と期待・価値理論に着目してー	師岡 あゆみ	お茶の水女子大学大学院
14-2	15:40-16:08	ハブスタンス学習理論を英語で扱った公立高校の英語授業実践報告と効果検証	白井 龍馬 高濱 良有	福岡教育大学 長崎県立長崎東高校
14-3	16:10-16:38	新たな時代の小学校教員の姿を求めたキャリア形成に関する研究ー「教職実践演習」との関連に着目してー	横江 信一	石巻専修大学

分科会 15(15:10～16:40) 6 階セミナー室 6C

座長：田澤 実(法政大学)

15-1	15:10-15:38	震災の記憶をつなぐ教育実践ーゼミ活動を通してー	佐藤 美輪	仙台青葉学院短期大学
15-2	15:40-16:08	大学職員との協働による初年次教育実践 ー「大学環境調査」の取り組みー	中西 絵美	敬愛大学
15-3	16:10-16:38	読書を介した対話の場づくり ー大学内教育・学習支援センターの創発の実践ー	鴨谷 香	大阪経済大学

分科会 16(15:10～16:40) 6 階セミナー室 6D

座長：杉本 英晴(関西大学)

16-1	15:10-15:38	プロジェクト学習がキャリア形成意識に与える影響の分析 —課題設定と大人との関わりに着目して—	小見 まいこ	筑波大学人間総合科学学術院
16-2	15:40-16:08	社会における価値創造人材の育成を目指すPBL型授業の 教育効果 —社会価値創造人材指標(n-SOCIAL)からの検討—	杉本 英晴	関西大学
16-3	16:10-16:38	一般企業就活生における働き方の志向性による相違 —収穫志向と安楽志向—	若松 養亮	滋賀大学

分科会 17(15:10～16:40) 6 階セミナー室 6E

座長：内田 雅和(三田国際科学学園)

17-1	15:10-15:38	ミドル・シニア世代の越境学習機会としたキャリア教育連携 プロジェクトの実践—39名の保護者と連携したPBL型 キャリアワークシヨップの実践報告—	内田 雅和	三田国際科学学園
17-2	15:40-16:08	予測困難な社会における、中学校のキャリア教育の一考察 —中学生が自学できるハプスタンス学習モデルの提案—	金子 基一	社会構想大学院大学
17-3	16:10-16:38	「語ること」から始まるライフキャリア教育 —卒業文集を活用した児童のキャリア形成支援の実践—	上山 那々 梅田 崇広	大阪府東大阪市立小学校 愛媛大学

10. 個人研究発表(ポスター発表)

(大会 2 日目 午前) 10 階ホール2～4

発表時間(ポスター掲示時間):180 分(9:00～12:00)

在席責任時間:60 分

(発表番号奇数 9:00-10:00、発表番号偶数 10:00-11:00)

※発表番号(P1～P28)

ホール2(P1～P10)

P1	新卒者の職務継続に必要な特性および価値観の検討 —A社の採用担当者の視点から—	廣瀬 英子 城所 穂 青山 航	上智大学 株式会社エイジェック 株式会社エイジェック
P2	福井県出身の大学生における地元志向とキャリア意識の関連	森本 康太郎	福井県立大学
P3	看護大学生のキャリアレディネスとキャリア教育内容との関連	竹本 由香里	宮城大学
P4	小・中・高12年間を繋ぐキャリア教育の充実を図る教員研修の 在り方について—体系的・系統的なキャリア教育を充実させるための教員研修 プログラムの開発と実践—	平野 雅子	兵庫県立総合教育センター
P5	子ども時代の興味関心のある活動の意識化と先行事例集の 参照が中学生の将来展望に及ぼす影響	天谷 祐子 松村 智史	名古屋市立大学 名古屋市立大学
P6	A高等学校における新版OHBYカード活用実践報告	辻 彰彦 松下 眞治 栗岩 秀	京都先端科学大学附属高等学校 放送大学修士選科生 京都先端科学大学附属高等学校
P7	キャリア観の変化を語りから捉える —Career Design Treeを用いた縦断的インタビュー分析—	前田 吉広	福山大学
P8	教育旅行と連動したキャリア教育プログラムの実践と改善プロセス —山形県X高等学校における7年間の取り組みから—	小林 等	玉川大学
P9	テレワークによる「時間と場所にとらわれない働き方」の可能性 —企業および労働者への調査から見えること—	高丸 理香 斎藤 悦子	お茶の水女子大学 お茶の水女子大学
P10	余暇の充実を目指したライフキャリア教育教材の開発と評価 —「人生を楽しむための余暇図鑑」の開発と授業実践を通して—	小田 三成 飯塚 茜 田中 克 藤原 舞 森 陸志 塩田 真吾	静岡大学 ヤマハ株式会社 ヤマハ株式会社 ヤマハ株式会社 ヤマハ株式会社 静岡大学

ホール3(P11～P20)

P11	ライフキャリアの充実を見通した中学校向け振り返り教材の開発と評価 —キャリア・パスポートとしての活用を通して—	高橋 有輝 小田 三成 馬場 美保 可知 穂高 塩田 真吾	静岡大学 静岡大学 長田西中学校 浜松江之島高校 静岡大学
P12	高校野球マネージャーを対象としたキャリア教育の試み 一部活動におけるサポート人材育成モデルの構築に向けた実践的検討—	矢澤 典子	株式会社びりあ
P13	大学生のクラブ・サークル活動における困難な体験の種類別にみた ベネフィット・ファインディングとキャリアレジリエンスとの関連	西村 香穂 児玉 真樹子	広島大学 広島大学
P14	就業に伴う若者の地域間移動 —当事者1名を対象としたインタビュー—	松浦 美晴 上地 玲子 神田 将志 岡本 響子	山陽学園大学 山陽学園大学 山陽学園大学 奈良学園大学
P15	キャリア・アダプタビリティを規定する要因の検討 —愛着スタイル、随伴経験との関連について—	四宮 康亮	追手門学院大学
P16	キャリアコンサルタントは「どこにいるべきか」？—学部・研究科専属と 全学型の二重実践から考える、学生に伴走する支援の本質—	早川 加恵	九州工業大学 長崎大学
P17	“推し”からの学びを活かしたキャリア教育の実践 —他者の経験・価値観を探る試み—	溝口 侑 山田 剛史	関西大学 関西大学
P18	高等学校における課題探究と自己探究を促す探究学習のデザインと 学びの過程	山田 剛史 溝口 侑	関西大学 関西大学
P19	肢体不自由のある就労者の語りにみるキャリア形成のプロセス —就学期のキャリア教育・職業教育経験に着目して—	高野 陽介	横浜国立大学
P20	授業外キャリア教育の実践拠点としての自律学習環境の改善と展開 —東京家政大学における自主学習スペースの策定と運営についての第二報—	並木 有希 フーバー・ダニエル・レナード リード・サミュエル・ヴィンセント 今 佑介	東京家政大学 東京家政大学 東京家政大学 東京家政大学

ホール4(P21～P28)

P21	キャリア支援における生成AIの可能性と限界の考察 —「AI活用のセルフ・ブランディング(仮称)」ガイダンスを題材に—	出射 詩予	株式会社パソナ
P22	県外就職というキャリア決定に関する質的研究	李 奎台	宇都宮大学
P23	高等専門学校におけるキャリア教育を内包した科目教育に関する研究(4)	畔田 博文 小菅 清香 杉本 英晴 萩原 俊彦	石川工業高等専門学校 駒沢女子大学 関西大学 東北学院大学
P24	キャリア教育は中国の県レベル高校に適合するか —広西における2つの県域高校での聞き取り調査を事例として—	黄 為軍	日本大学
P25	キャリア教育実践に向けたARS-30日本語版の開発における考察 —アカデミック・レジリエンスを基盤とした学習継続力支援—	濱崎 あゆみ	明海大学
P26	高等学校と専門学校の地区協議会による連携教育の検証 —東京都下多摩地区「専門学校チャレンジプログラム」の20年—	日高 淳 本間 恒男	国際文化理容美容専門学校国分寺校 都立青梅総合高校
P27	大学生アルバイトにおけるワーク・エンゲイジメントの促進要因 —レジリエンス、パーソナリティ特性に焦点を当てて—	福本 芹奈	甲南女子大学大学院
P28	問いの変容プロセスに着目した「総合的な探究の時間」のルーブリック開発	田澤 実 見目 友香	法政大学 公益財団法人 日本女性学習財団